

環境との共存・調和を実現するために、 全社をあげて環境保全活動に取り組んでいます。

背景と経緯

シヤチハタでは、創業以来、永く使い続けることができる高品質の商品をお届けしてきました。インキを補充することで繰り返し使える「ロングライフ・クオリティ」の考え方は、省資源にもつながります。このような商品の品質を世界的な規格で管理するため、1993年に、当時の天塚工場において品質保証の国際規格「ISO9002」を取得。その後、生産本部・開発事業・シヤチハタマレーシアに拡大し、現在では「ISO9001」の認証を取得しています。また、稲沢工場（生産本部）では、2000年に環境マネジメント規格「ISO14001」の認証を取得。地球社会の一員として、社員一人ひとりが環境保全活動に取り組んでいます。

環境方針

環境憲章

シヤチハタはコミュニケーション文化創造企業として、地球環境問題を「企業の社会的責務」と認識し、低炭素社会づくりを目指します。また、企業活動と環境との共存・調和を基本理念に掲げ、「環境に優しい負荷低減型」の商品・サービスを提供することによって環境保全に貢献します。

行動指針

- 1 環境とヒトに優しい生活文化製品を創造し、製造していく過程において、地球環境にとって最良の方法を追求します。
- 2 環境活動を経営上の重要課題と認識し、全社員が真剣に取り組み推進していきます。
- 3 環境関連法令およびその他要求事項を遵守することはもとより、積極的に自主管理基準を定め、環境汚染の予防に努めます。
- 4 目的・目標を定め、環境管理を行うと共に、環境監査などを通じた定期見直しにより、環境保全の維持及び継続的改善を行います。
- 5 この環境方針は、全社員に対し理解と意識の高揚のため、周知徹底することはもちろん、広く一般に公開いたします。

代表取締役社長 舟橋 正剛

企業理念

社会が望む「便利」「楽しさ」「安心・安全」を世界へ

シヤチハタの使命は、いつの時代でも「便利」「楽しさ」「安心・安全」という価値を社会に提供し続けることです。これまではメーカーとして最高品質の商品を企画開発・生産し、文具印章流通を通して価値を届けてきました。これからは、よりユーザーに寄り添った活動を行い、社会が望む商品とサービスを自信と確信をもって、世界へ提供していきます。

感謝

私たちは、すべての人々に支えられていることを忘れず、常に感謝の気持ちを行動で表します。

ユーザー視点

私たちは、常にユーザーの信頼と期待に応えるため、ユーザー視点にたった行動を大切にします。

挑戦

私たちは、失敗を恐れず果敢に挑戦し、そのプロセスや結果から学び、次に活かします。

主体性

私たちは、自らの考えと決断に基づく行動を大切にします。

多様性

私たちは、お互いの価値観の違いを認め、尊重する気持ちを大切にします。

環境マネジメントシステム体系

- 全社：本社をはじめ、工場・営業拠点などが連携し、環境保全活動に取り組む。
- 稲沢事業所（生産本部）：2000年9月にISO14001認証取得。



稲沢工場全景

工場概要

所在地 〒492-8102 稲沢市子生和神明町37
TEL 0587-24-5805 FAX 0587-24-1030
敷地面積 16,400m²
延床面積 13,900m²
従業員数 357名（2023年3月現在）

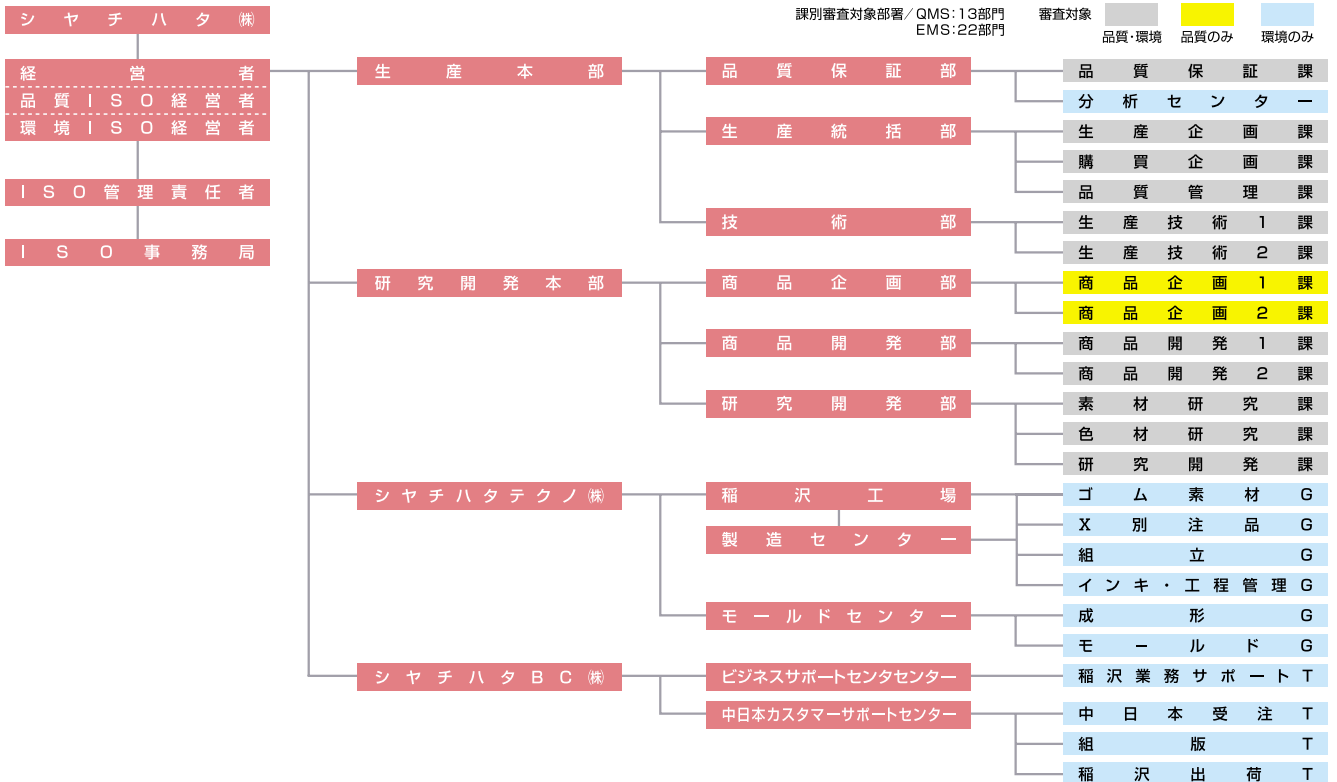
環境マネジメント推進体制

シヤチハタグループは、環境経営者を議長とする「環境運営委員会」を設置し、環境目標の設定、達成状況のチェック、グループ全体の環境パフォーマンスの向上、その他環境に関する諸問題の解決に取り組んでいます。

特に気候変動問題など、経営にとって重要な課題については、取締役会への報告を行っています。取締役会は報告を受けた環境課題について議論することを通じ、監督しています。また、それぞれの

事業会社・グループ会社でも専門委員会を設置し、企業単位の活動を進めています。

ISO9001・ISO14001マネジメントシステム 組織図 (2023年7月現在)



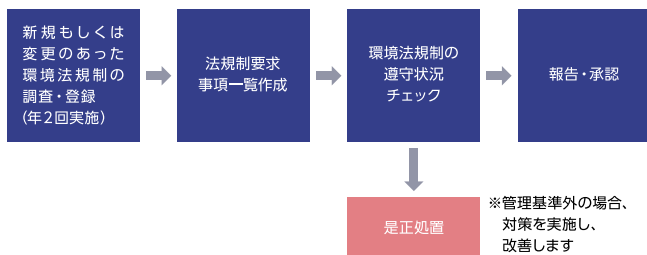
環境監査

内部環境監査では、事務局の指示のもと年1回の内部環境監査を実施しています。マネジメントシステムの有効性や法令遵守状況の確認、マネジメントプログラムの進行等を確認し、是正処置を講じるなど、継続的に改善しています。また、外部環境審査では、年1回の第3社審査機関によるISO14001認証維持審査を受け、「ISO14001の要求事項に引き続き適合し、運用され、継続的に改善が図られている」との評価を得ています。

法令遵守、財務報告・情報開示などに関するリスクや近年企業のリスクマネジメント上重要となってきた気候変動などのESGリスクの管理についても、担当執行役員などがリスクの認識に努め、必要に応じ適切な会議体において確認・評価し、その対処方針を審議・決定しています。取締役会は、シヤチハタグループのESGリスクに関して、その重要事項について報告を受け議論することを通じ、監督しています。

法規制対応

環境法令監視システム



上記のように環境法令監視システムを設け、是正点があった場合は、速やかに対処できる体制を取っています。2022年度は、環境関連の法令などの違反および事故、訴訟はありませんでした。シヤチハタが「内部統制体制構築の基本方針」に基づきグループの包括的なリスク管理を担っています。シヤチハタの環境経営者が議長を務める「環境運営会議」を通じて情報の集約と管理の強化を行い、リスクの発生頻度や影響の低減を図っています。事業活動、倫理

リスクマネジメント

リスクマネジメントの推進にあたっては、管理責任者がリスクマネジメント推進責任者として当社グループ全体のリスクマネジメントを統括し、緊急事態発生模擬訓練計画策定・実行の年次サイクルに合わせたリスクマネジメント体制の運営を行っています。各部門においては部門の責任者が組織の目的・目標の達成に向け、個別リスクにかかわる分析・評価、年次対応計画の策定・遂行、組織内でのリスクマネジメントにかかわる情報提供・啓発など自律的にリスクマネジメントを推進しています。

ISO14001に基づく「緊急事態」訓練はもちろん、色水排水地下タンクからの汚泥排出防止や廃油処理の改善、塩酸タンク上部からのガス流出防止の強化などを実施しています。

環境教育

ISO14001の認証と維持について年1回の新入社員教育の他、全体教育として、新入社員研修・マネジメントプログラム教育・緊急事態教育や、環境業務運用設備・工程に関する部署単位教育などを行っています。さらに、毒劇薬・危険物の取り扱いなど、環境全体勉強会を随時開講し、社員一人ひとりの環境意識を高めています。また、社内有資格者として、内部環境監査員／環境設備取扱者教育を行っています。